

## 令和5年度 第3回学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和6年2月21日(水) 14:40~16:30
- 2 開催場所 岩手県立大東高等学校 会議室
- 3 参加者 校外委員9名、校内委員5名(総務主任1名、事務長1名オブザーバー参加)
- 4 次第 別紙資料表紙の通り
- 5 校長あいさつ
  - ・1年間のご協力に感謝申し上げます。
  - ・コロナ5類への移行に伴い、様々な学校行事を通常実施(体育祭・文化祭など)した。
  - ・年度当初、生徒数36名減少でスタートしたが、生徒はまさに「一隅を照らす」活躍をしてくれている。(新聞記事等参照)
  - ・令和8年度の創立100周年記念事業に向けて準備を始めた。
  - ・来年度に向けて貴重なご意見を頂きたい。
- 6 令和5年度前期活動報告(質問なし)
  - (1)部活動等は別紙資料①のとおり。
  - (2)進路指導について、私立大学進学者2名追加。
  - (3)その他は「きらり大東」資料のとおり。
- 7 協議(説明は資料の通り)進行:会長
  - (1)学校評価アンケートについて
    - <質疑・意見>
      - ・ツブブロックはOKとなったのか。(B委員)  
⇒生徒総会での要望として出てきた。正式にはまだであるが、職員会議を経て認める方向。  
この他「女子の髪型・スラックス」「スマートフォンの使い方」等生徒の意見が出てくる事は非常に大事であると感じる。
      - ・生徒のアンケートで「校則を見直してほしい」について、古い時代のもではなく今の時代にあったものを生徒総会で話し合うことで、中学生へのアピールになるのではないか。また、「生徒の自由記述」の良いところをパンフレットに記載し、中学生に伝えられればいいのではないか。(F委員)
      - ・中学生よりも保護者にアピールすべきか。これだけ志願者が少なくなってくると高校に責任があるのではなく、大東地域に責任があるのかと思ってしまう。(E委員)
      - ・子供は単純に物事をとらえて本音を言っている。中高の先生方同士・生徒同士の連携が大事なのではないか。また、大東高校普通科独自の特色づけが出来ないだろうか。(I委員)

(2)大東高校の志願者確保に向けた取組について

(3)地域や関係機関との連携について

<質疑・意見>

- ・ 県のクラス数減の基準は何ですか。(F 委員)  
⇒原則 2 年連続定員を割ると対象となる。
- ・ 市内の工業クラブが中心となって保護者向けの説明会を実施している。親は大学卒業後の就職先を気にしている。(A 委員)
- ・ note に「卒業生の活躍」を掲載することも考えているのは非常に良いことだと思う。合わせて、どのような上級学校に推薦で入学できるか等も保護者の学校選びのポイントになるのではないか。(G 委員)
- ・ 中学生の早い段階からアピールが必要ではないか。パンフレットに過去 3 年分くらいの進路実績があるとイメージしやすいのではないか。(H 委員)
- ・ パンフレット等に卒業生の保護者の声を入れるのはどうか。また、少人数をもっとストロングポイントとしてアピールしてはどうか。生徒数の急激な増加は厳しいと思うので、これ以上志望者を減らさないようにすることが大事。(F 委員)
- ・ 大学出前授業は中学生にとっては難しい内容であった。中高の交流会のような感じである方が良いのではないか。(C 委員)  
⇒今年で 2 年目だが、今年度は「就職」コースも準備したが参加希望はすべて大学であった。上級学校進学・就職のどちらにも対応できる活動を行っていることを体感してもらおう趣旨であった。

(4)全体反省会議について (質問なし)

(5)本会の来年度の取組について

- ・ 年 3 回実施のどこか 1 回でも生徒も参加できると良いのではないか。(I 委員)  
⇒良い意見ですが、別な形・機会であれば実施可能だと思う。

(6)令和 6 年度の委員について

⇒来年度も引き続きお願いしたい。

<質疑・意見>

- ・ 同窓会からも参加してもらおうと良いのではないか。(F 委員)  
⇒委員の構成人数は最大 15 名となっている。学校側の委員人数を減らせば可能である。

(7)その他 なし

## 7 その他

- ・ 水かけ祭りでの情報ビジネス科のご協力に感謝したい。(B 委員)  
⇒来年は 1,2 年生全員で参加できないか関係各所に相談していきたい。

## 8 所感

終始、積極的で活発な雰囲気での会議が進んだ。委員の皆様の東大高校への強い期待が様々な発言から感じられた。会議前には、委員の 1 名の方に授業参観をしていただき、本校の学習活動に触れていただいた。